

令和7年度 第1回 山梨県介護労働懇談会 資料

令和7年9月10日

令和6年度「介護労働実態調査」 山梨と全国_調査結果から考える

公益財団法人 介護労働安定センター 山梨支部

介護労働実態調査とは

公益財団法人 介護労働安定センターでは

介護分野における優れた人材の確保と育成、
介護に関わる方々の働く環境の改善、
より質の高い介護保険サービスの提供等に資することを目的に、

- 事業所調査は平成 14 年度から、
- 労働者調査は平成 15 年度から、**毎年実施**しています。

本調査資料は、当センターホームページ
(<https://www.kaigo-center.or.jp/report/jittai/>)
に掲載しています。

※ 本分析資料において、事業所調査は【事】、労働者調査は【労】と表しています。

調査の概要

調査方法：郵送配布・回収に拠る調査票調査

事業所調査は電子メール回収を併用

労働者調査は、送付先事業所に労働者3名の選出を依頼し実施

調査期間：令和6年度10月1日～31日（調査対象基準日は令和6年10月1日）

山梨県

	配布数（有効配布数）	有効回収数	回収率（令和3年度）
事業所調査	136（113）	61	54.0%（56.3%）
労働者調査	339	156	46.0%（42.9%）

全 国

	配布数（有効配布数）	有効回収数	回収率（令和4年度）
事業所調査	18,000（17,089）	9,044	53.0%（53.8%）
労働者調査	51,267	21,325	41.6%（40.3%）

【事】介護サービス事業を運営する上での問題点（複数回答）

●「良質な人材の確保が難しい」

山梨県は 43.3%、全国は 42.2%（昨年度_山梨県 51.5%、全国52.4%）

●「現行の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない」

山梨県は 35.0%、全国は 45.8%（昨年度_山梨県 54.5%、全国49.7%）

	回答事業所数	現行の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない・賃上げができない	経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善が来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と介護従事者間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の制度改正等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	特に問題はない
山梨県	60	35.0	26.7	43.3	18.3	8.3	8.3	8.3	23.3	5.0	6.7	3.3	1.7	20.0	0.0	1.7
全国	8,978	45.8	22.4	42.2	17.8	7.6	5.5	5.6	16.6	3.2	3.8	3.4	2.2	26.0	1.4	6.0
訪問系	2,734	44.9	19.6	45.0	17.3	5.4	4.8	5.2	16.4	2.2	3.2	4.6	1.9	26.8	1.9	6.5
施設系(入所型)	1,172	43.0	25.1	52.2	20.3	12.1	10.0	6.8	19.8	7.3	6.0	2.8	1.0	18.3	0.8	2.4
施設系(通所型)	2,643	49.0	26.8	36.4	20.2	7.7	4.8	6.1	16.3	2.9	3.7	2.6	2.5	27.7	1.1	4.5
居住系	1,054	44.7	16.6	54.4	17.2	12.7	8.7	6.8	21.3	4.4	5.6	2.6	1.8	17.6	1.6	3.1
居宅介護支援	852	46.5	22.1	25.9	10.9	1.3	0.8	2.6	9.6	1.2	1.4	5.0	4.5	39.7	1.3	17.1

【事】従業員の過不足状況

不足とする事業所(「大いに不足」+「不足」+「やや不足」)は、

山梨県 70.9%、全国 65.2%

(山梨県「やや不足」50.0%)

記事に



【山梨日日新聞 令和7年9月6日(土)】
介護事業所「人手不足」7割
県内24年度13ポイント増、全国を上回る

< 山梨県 > (件、%)								< 全国 > (件、%)							
	事業所数 当該職種の 数種 の いる	① 大いに 不足	② 不足	③ やや 不足	④ 適 当	⑤ 過 剰	(① + ② + ③) 不足感		事業所数 当該職種の 数種 の いる	① 大いに 不足	② 不足	③ やや 不足	④ 適 当	⑤ 過 剰	(① + ② + ③) 不足感
全体でみた場合	*48	*4.2	*16.7	*50.0	*29.2	*0.0	*70.9		7,512	10.0	21.2	34.0	34.3	0.5	65.2
訪問介護員	*11	*27.3	*18.2	*36.4	*18.2	*0.0	*81.9		2,726	29.8	28.3	25.3	16.0	0.6	83.4
介護職員	*44	*4.5	*25.0	*52.3	*18.2	*0.0	*81.8		5,185	13.5	23.0	32.6	29.8	1.1	69.1
サービス提供責任者	*14	*0.0	*0.0	*14.3	*85.7	*0.0	*14.3		2,783	6.3	10.1	14.5	68.0	1.1	30.9
生活相談員	*35	*0.0	*2.9	*28.6	*68.6	*0.0	*31.5		3,191	2.2	7.1	15.6	74.2	0.8	24.9
看護職員	*36	*0.0	*11.1	*41.7	*47.2	*0.0	*52.8		4,354	6.0	12.3	25.9	53.9	2.0	44.2
PT・OT・ST等	*24	*0.0	*4.2	*29.2	*66.7	*0.0	*33.4		2,044	2.9	8.1	20.3	67.2	1.5	31.3
介護支援専門員	*25	*0.0	*12.0	*20.0	*68.0	*0.0	*32.0		3,520	5.4	10.4	18.7	64.7	0.7	34.5

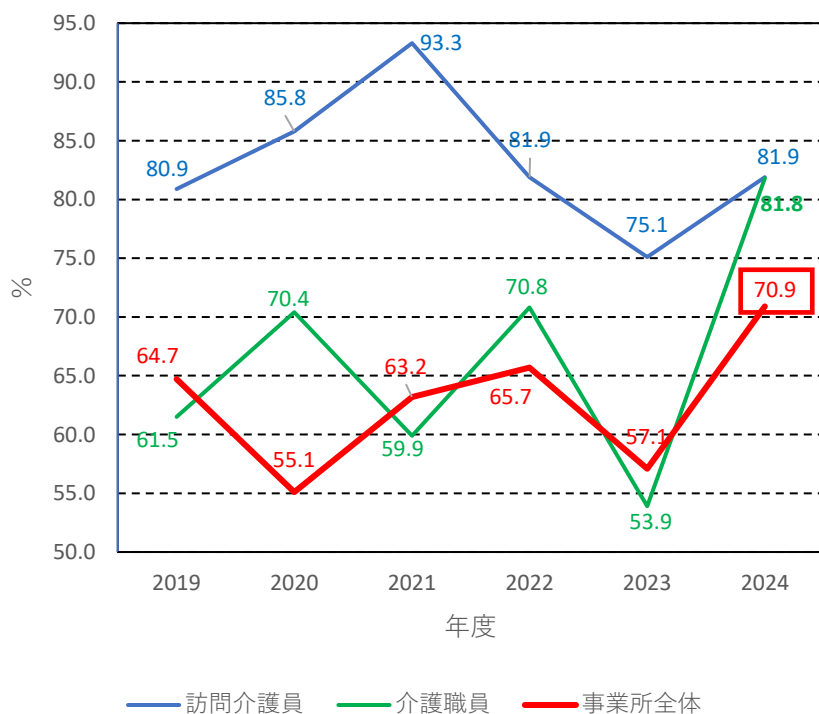
【事】人材の不足感の経年推移（「大いに不足」＋「不足」＋「やや不足」）

介護事業所における人材不足は慢性的、中でも「訪問介護員」の不足感は顕著といえる。

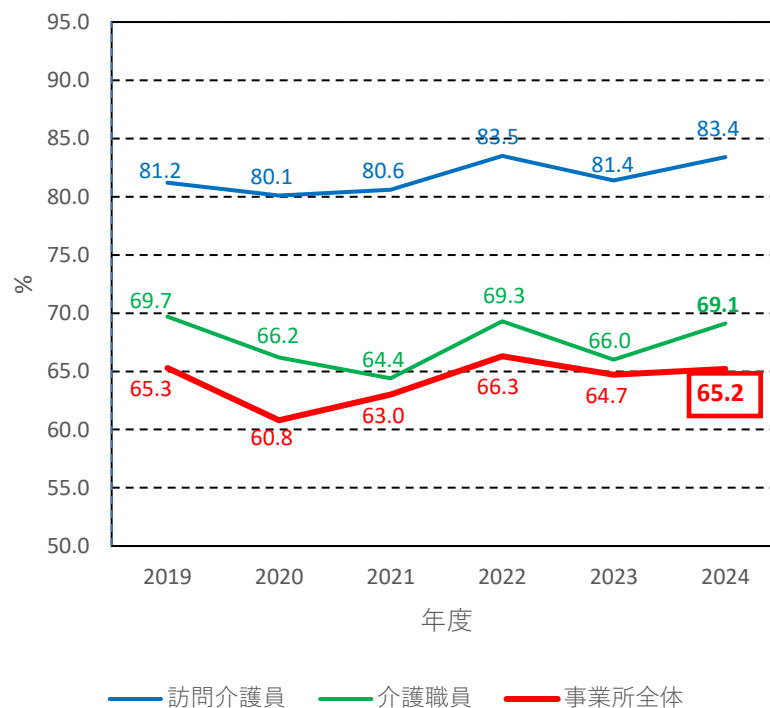
山梨県における令和6年度調査(2024)の注目すべき点、

「介護職員」の人手不足感が、「訪問介護員」並みに急に高まった。

【山梨県】 人手不足感



【全国】 人手不足感



【事】 全体、および各職種の採用率、離職率、増減率

2 職種（訪問介護員、介護職員）の

採用率は、山梨県 **13.2%**、全国 **14.3%**（昨年度_山梨県 16.3%、全国16.9%）

離職率は、山梨県 **10.7%**、全国 **12.4%**（昨年度_山梨県 11.4%、全国13.1%）



			< 山梨県 > (件、%)				< 全国 > (件、%)			
			回答事業所数 (注1)	① 採用率 (注2)	② 離職率 (注2)	③ 増減率 ①-②	回答事業所数 (注1)	① 採用率 (注2)	② 離職率 (注2)	③ 増減率 ①-②
職種別	2職種計(訪問介護員・介護職員)		53	13.2	10.7	+2.5	7,427	14.3	12.4	+1.9
	訪問介護員		*12	*11.4	*9.5	++1.9	2,908	14.1	11.4	+2.7
	介護職員		*49	*13.5	*10.9	++2.6	5,540	14.4	12.8	+1.6
	サービス提供責任者		*18	*12.9	*12.9	*0.0	3,475	8.3	8.3	0.0
	生活相談員		*39	*3.4	*3.4	*0.0	3,453	9.6	8.7	+1.0
	看護職員		*38	*18.6	*10.0	++8.6	4,661	21.6	15.9	+5.7
	PT・OT・ST等		*24	*27.0	*11.1	++15.9	2,194	16.3	9.7	+6.6
	介護支援専門員		*27	*19.7	*7.6	++12.1	3,911	14.0	10.4	+3.6

(注1) 2職種計の回答事業所数については、訪問介護員、介護職員の両者に回答があっても一つの事業所数とカウントするので、職種別の項目の合計と一致しない。

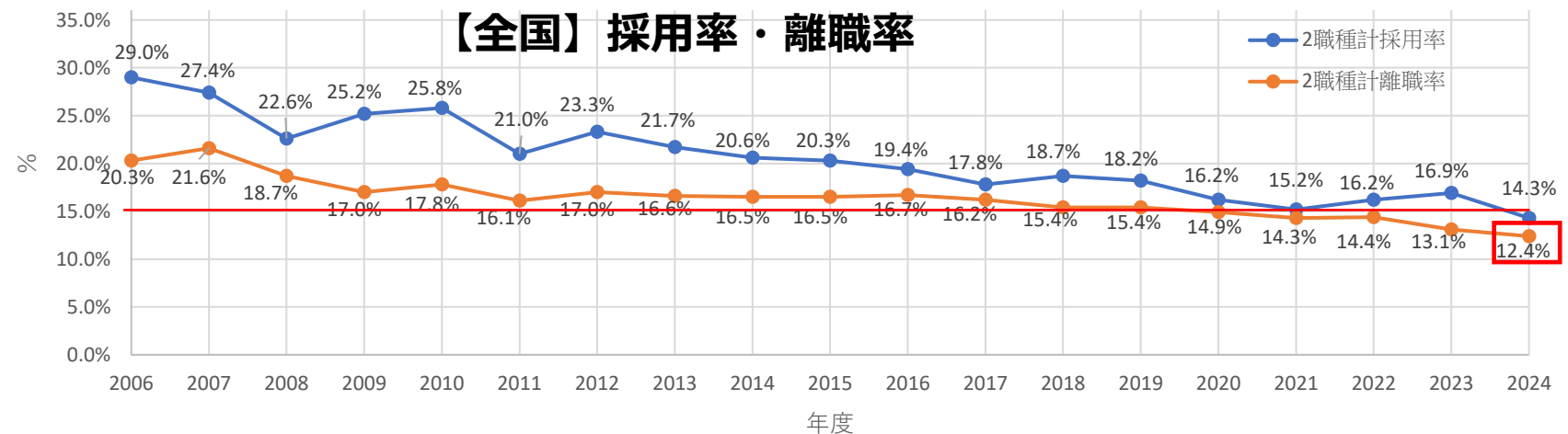
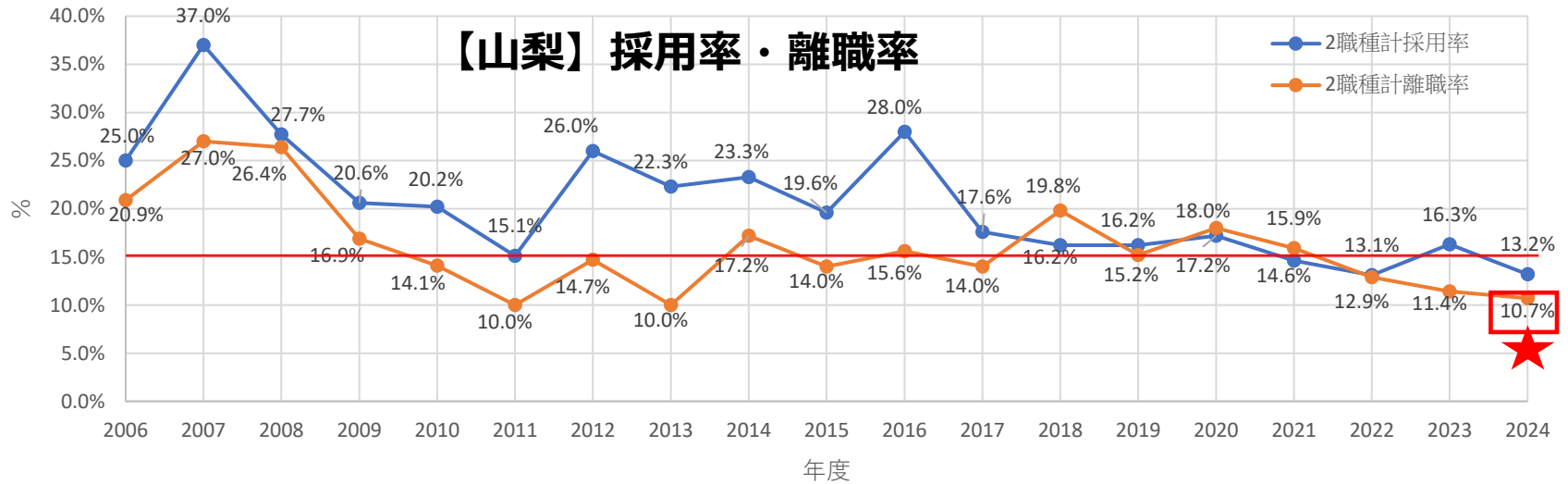
(注2) 採用率、離職率等の計算式は、16ページ「1 調査で使用された主な用語の定義」の(4)を参照。

【事】 訪問介護員と介護職員の2職種合計（有期、無期職員の合計） の採用率・離職率の経年推移

山梨における令和6年度調査(2024)の注目すべき点、

「離職率」は、4年連続で低下。全国平均を3年連続で下回るも、

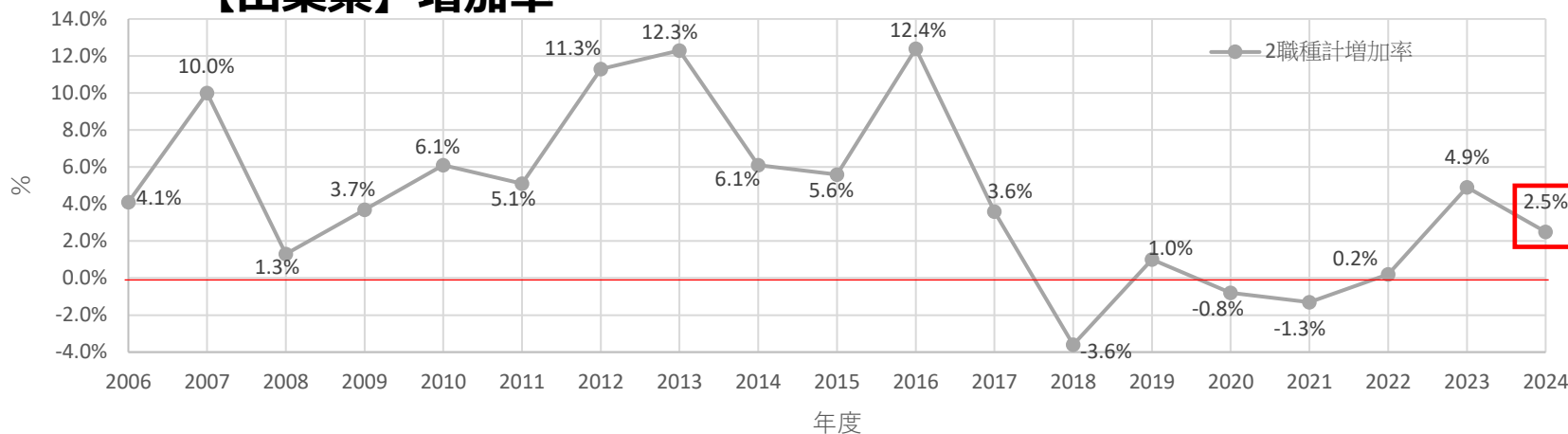
「採用率」は、大きく低下。採用が難しくなり、人手不足感の上昇に。



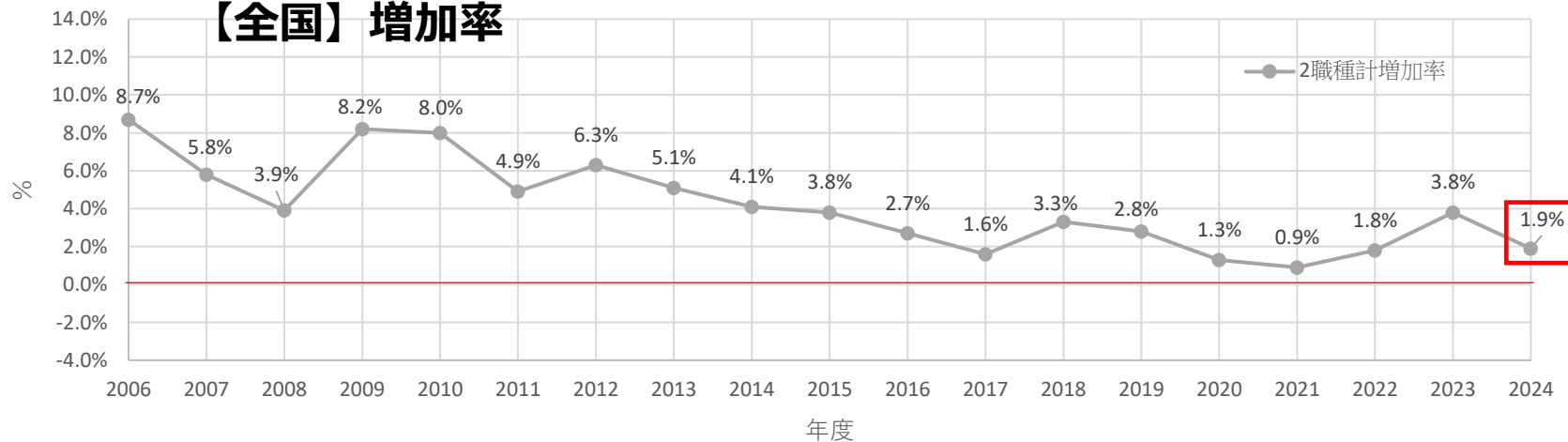
【事】 訪問介護員と介護職員の2職種合計（有期、無期職員の合計） の増加率の経年推移

採用率低下も、離職率も低下していることで、職員数増加は維持できているが、
山梨県も、全国も、昨年度からは一転して、職員増加率の鈍化には注意が必要。

【山梨県】 増加率



【全国】 増加率



【事】 採用活動において行っているもの〔複数回答〕

山梨県においては、職員の友人・知人などの紹介を依頼が 75.0%で1位、
ハローワークや福祉人材センターの担当者に相談が 71.7%で2位

			(件、%)									
			回答事業所数	ハローワークや福祉人材センターの担当者に相談	有料職業紹介所を活用	職員に対して友人・知人などの紹介を依頼	民間の有料求人情報サイトを活用	事業所ホームページで求職者へ発信	SNS（注）を活用して事業所への発信	職場体験、職場実習の受け入れを実施	就職セミナー、採用説明会に参加・開催	特に行っていない
山梨県			60	71.7	31.7	75.0	30.0	36.7	11.7	40.0	31.7	15.0
全国			8,978	66.9	41.5	65.6	36.6	37.2	14.8	24.5	22.1	10.8
訪問系			2,734	62.9	39.5	69.9	37.4	37.2	15.4	17.3	15.8	8.2
施設系(入所型)			1,172	86.4	60.8	80.5	44.0	57.5	22.7	57.4	53.3	1.3
施設系(通所型)			2,643	69.8	38.7	61.5	37.6	33.9	14.3	21.5	17.2	8.7
居住系			1,054	76.7	53.1	75.3	43.5	41.9	14.5	28.4	31.0	3.4
居宅介護支援			852	31.5	13.8	32.5	11.2	13.4	4.0	7.4	4.2	48.8
(注) SNS: LINE、X(旧Twitter)、Facebook、Instagram、YouTubeなど												

【事】 採用活動において採用に効果があったもの〔複数回答〕

山梨県においては、即効性という点で「有料職業紹介」が 84.2% 選択肢 1位

(有料職業紹介の手数料やマッチングアプリの成功報酬が高額となり、負担感を感じる事業者も多い)

ハローワークや福祉人材センターの担当者に相談は 51.2% で選択肢 2位

			回答事業所数	ハローワークや福祉人材センターの担当者に相談	有料職業紹介所を活用	職員に対して友人・知人などの紹介を依頼	民間の有料求人情報サイトを活用	事業所ホームページで求職者への発信	SNSを活用して自事業所への発信	職場体験、職場実習の受け入れを実施	就労セミナー、採用説明会に参加・開催	(件、%)
山梨県			60	51.2	84.2	42.2	38.9	18.2	14.3	16.7	10.5	
全国			8,978	40.1	45.2	46.0	41.1	21.3	16.8	18.0	18.8	
訪問系			2,734	32.0	40.7	46.6	39.9	23.0	19.2	14.4	15.3	
施設系(入所型)			1,172	44.6	56.8	47.5	34.7	18.7	12.8	22.1	21.6	
施設系(通所型)			2,643	45.8	40.9	46.9	46.7	21.9	16.2	17.2	17.6	
居住系			1,054	41.3	51.3	45.7	39.9	19.5	17.6	14.7	19.9	
居宅介護支援			852	37.7	39.8	41.9	36.8	23.7	14.7	23.8	25.0	

(注)「行っている」事業所における「採用に効果があった」とする事業所の割合

【事】採用や職場定着・離職防止のために**行っているもの**〔複数回答〕

**有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり 85.0% 選択肢 1位、
人間関係が良好な職場づくりが 75.0% 選択肢 2位**

																						(件、%)	
																							特に方策はとっていない
																							地域活動への事業所としての参加
																							事業所内外で研修機会の充実
																							能力や仕事ぶりを処遇に反映
																							事業所内でのキャリアアップの道筋の明確化
																							託児所設置や保育費用支援等
																							仕事と育児や介護の両立支援
																							健康対策や健康管理の充実
																							介護ロボット・ICT機器等の導入、業務改善等による業務負担の軽減
																							事業所の設備・環境を働きやすいものに改善
																							悩み、不満、不安などを上司以外に相談できる担当者・相談窓口の設置
																							仕事外での職員間の交流の機会の設定
																							職場内での仕事上のコミュニケーションの円滑化（面談、ミーティング、意見交換会など）
																							人間関係が良好な職場づくり
																							現場の裁量による創意工夫を尊重するマネジメント
																							介護の質の向上（注）を図るための価値観や行動基準の共有
																							本人の希望や人間関係などに配慮した配置・異動
																							有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり
																							時間外労働の削減
																							賃金水準の向上
																							回答事業所数

(注)「介護の質の向上」とは、利用者に対して、尊厳確保・虐待防止、QOL確保、自立支援に対する配慮等、質の高い介護サービスを提供することによって、その満足度を高めることをいう。

【事】採用や職場定着・離職防止のため(採用に効果があったもの)〔複数回答〕

山梨県においても、全国においても、選択肢 1位は「賃金水準の向上」

選択肢 2位は「有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり」

																				(件、%)		
			回答事業所数	賃金水準の向上	時間外労働の削減	有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり	本人の希望や人間関係などに配慮した配置・異動	介護の質の向上を図るための価値観や行動基準の共有	現場の裁量による創意工夫を尊重するマネジメント	人間関係が良好な職場づくり	職場内での仕事上のコミュニケーションの円滑化（面談、ミーティング、意見交換会など）	仕事外での職員間の交流の機会の設定	悩み、不満、不安などを上司以外に相談できる担当者・相談窓口の設置	事業所の設備・環境を働きやすいものに改善	介護ロボット・ICT機器等の導入、業務改善等による業務負担の軽減	健康対策や健康管理の充実	仕事と育児や介護の両立支援	託児所設置や保育費用支援等	事業所内でのキャリアアップの道筋の明確化	能力や仕事ぶりを処遇に反映	事業所内外で研修機会の充実	地域活動への事業所としての参加
				1		2				4					5			3				
山梨県			60	47.4	9.1	29.4	8.3	14.3	4.3	20.0	10.0	0.0	3.7	9.7	17.6	0.0	11.1	28.6	10.5	14.3	2.8	0.0
全国			8,978	36.0	14.1	25.7	15.2	3.5	2.3	17.3	5.5	3.4	3.0	7.1	10.1	2.6	15.2	20.2	6.7	5.0	4.3	2.4
訪問系			2,734	34.1	14.0	24.5	15.3	3.3	2.0	16.8	6.0	4.4	2.0	6.8	9.8	2.6	15.8	11.7	5.3	5.6	3.9	2.2
施設系(入所型)			1,172	42.4	14.1	28.5	15.5	3.3	2.6	16.5	4.0	1.8	2.5	7.6	13.1	2.1	16.7	31.0	9.2	3.9	5.6	2.5
施設系(通所型)			2,643	36.4	14.9	26.0	15.2	3.5	2.1	18.8	5.3	3.4	3.1	6.9	6.3	2.1	16.8	17.0	6.7	4.3	3.6	2.4
居住系			1,054	38.9	14.7	26.0	16.6	4.1	1.6	17.9	6.0	5.1	5.1	7.0	11.0	3.6	8.9	25.0	7.0	5.9	4.5	3.0
居宅介護支援			852	26.7	12.8	27.1	14.3	2.2	3.8	17.1	6.5	0.7	5.6	12.1	11.0	4.2	12.6	0.0	5.7	5.2	5.3	1.7

(注)「行っている」事業所における「採用に効果があった」とする事業所の割合

【事】採用や職場定着・離職防止のため(定着に効果があったもの)〔複数回答〕

山梨県においても、全国においても、選択肢 1位は「有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり」、選択肢 2位は「賃金水準の向上」 ※採用では1位と2位が逆

(件、%)																			
地域活動への事業所としての参加	事業所内外で研修機会の充実	能力や仕事ぶりを処遇に反映	事業所内でのキャリアアップの道筋の明確化	託児所設置や保育費用支援等	仕事と育児や介護の両立支援	健康対策や健康管理の充実	介護ロボット・ICT機器等の導入、業務改善等による業務負担の軽減	事業所の設備・環境を働きやすいものに改善	悩み、不満、不安などを上司以外に相談できる担当者・相談窓口の設置	仕事外での職員間の交流の機会の設定	職場内での仕事上のコミュニケーションの円滑化（面談、ミーティング、意見交換会など）	人間関係が良好な職場づくり	現場の裁量による創意工夫を尊重するマネジメント	介護の質の向上を図るための価値観や行動基準の共有	本人の希望や人間関係などに配慮した配置・異動	有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり	時間外労働の削減	賃金水準の向上	回答事業所数
				5								3			4	1		2	
山梨県	60	44.7	12.1	49.0	19.4	10.7	4.3	28.9	17.5	7.1	3.7	9.7	5.9	0.0	19.4	14.3	0.0	7.1	2.8
全国	8,978	30.9	16.4	34.4	23.6	4.0	3.6	29.5	14.1	7.5	7.8	7.5	8.9	2.9	20.2	15.4	4.4	7.9	3.1
訪問系	2,734	30.9	15.6	33.7	22.2	4.2	3.3	29.2	14.0	8.6	7.1	7.0	9.4	3.5	19.6	8.0	3.8	8.4	3.3
施設系(入所型)	1,172	35.9	16.3	33.4	30.3	3.5	3.0	24.9	13.6	6.5	10.2	9.1	10.1	1.8	22.1	22.4	4.7	6.2	4.0
施設系(通所型)	2,643	29.6	17.1	34.9	22.1	4.4	3.8	32.0	13.9	7.1	7.6	6.4	7.0	2.9	22.7	17.0	4.4	7.7	2.5
居住系	1,054	30.1	16.4	37.0	27.5	3.8	2.1	30.8	14.6	8.4	8.0	7.0	7.1	1.8	16.8	15.3	4.8	8.5	1.6
居宅介護支援	852	29.0	16.6	37.9	15.6	3.6	7.1	28.4	15.0	5.4	9.1	12.9	14.4	5.0	16.4	0.0	3.8	10.5	5.6
(注)「行っている」事業所における「職場定着に効果があった」とする事業所の割合																			

【事】 介護ロボット、ICT機器等の導入効果〔日常的に利用しているもの〕

山梨県においては、「夜間業務」「昼間業務」負担軽減に、半数以上が効果を感じている。

							(件、%)		
			回答事業所数	昼間の業務負担の軽減	夜間の業務負担の軽減	勤務時間の短縮（残業など）	業務の活性化	介護の質の向上	
山梨県			60	55.0	57.5	41.6	41.7	40.0	
全国			8,978	49.4	44.6	38.4	39.6	35.4	
訪問系			2,734	41.9	34.9	36.0	36.3	29.3	
施設系(入所型)			1,172	73.1	72.6	50.1	53.6	56.5	
施設系(通所型)			2,643	48.3	35.8	37.9	38.3	34.7	
居住系			1,054	59.2	59.8	40.2	45.0	43.1	
居宅介護支援			852	37.7	24.1	32.7	31.6	23.0	
(注1) 値は、「効果があった」「やや効果があった」の割合の合計。									
(注2) 導入しているものが一つもない場合は、導入したとした場合に予想される効果を回答。									
(注3) 「夜間の業務負担の軽減」は、全回答者から「夜間業務がない」を差し引いた値を元に集計。									

【事】 外国籍労働者の受け入れ状況〔複数回答〕

「いずれも受け入れていない」山梨県は 73.3%、全国は 78.8%

	回答事業所数	在留資格「介護」 (法人で直接受け入れ)	在留資格「介護」 (他法人からの転職)	EPA(経済連携協定) による受け入れ	EPA(経済連携協定) (他法人からの転職)	在留資格「特定技能1号」 (法人で直接受け入れ)	在留資格「特定技能1号」 (他法人からの転職)	技能実習生	留学生	(件、%)
山梨県	60	6.7	1.7	1.7	0.0	8.3	1.7	11.7	5.0	73.3
全国	8,978	6.2	1.4	0.8	0.2	6.2	1.4	5.2	2.0	78.8

受け入れている事業所の 53.8%が

「今後、積極的に受け入れを拡大していきたい」と回答

① 現在受け入れている事業所

◆ 全国では、「今後、受け入れを積極的に拡大していきたい」は32.3%

	回答事業所数	今後、新たな受け入れはしない予定	現在の外国籍労働者数の水準を補充する程度	今後、積極的に受け入れを拡大していきたい	(件、%)
山梨県	*13	*7.7	*30.8	*53.8	★
全国	1,417	14.1	49.3	32.3	

② 現在受け入れていない事業所

◆ 全国では、「今後、受け入れを検討してみたい」は30.1%

	回答事業所数	今後、受け入れを検討してみたい	受け入れたいが、どのような手続きを進めれば受け入れられるかわからない	今後、受け入れようとは思わない	(件、%)
山梨県	*44	*45.5	*11.4	*36.4	
全国	7,075	59.2	6.8	30.1	

【参考】 外国籍労働者の受け入れ状況の推移〔山梨労働局_公表資料〕

山梨県内での外国籍労働者の受入れ（事業所数と労働者数） **R1→6の5年間の増加率**

「全産業」 **事業所数で1.56倍、労働者数で1.53倍**

「社会保険、社会福祉、介護事業」 **事業所数で2.28倍、労働者数で4.30倍**

他の産業と比べ、外国人労働者受け入れ 伸張が続いている

【介護関係】 山梨県内の外国人雇用状況(動向)について 参 考

		公益財団法人介護労働安定センター山梨支部						
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1→R6
事業所数	県内全産業	1,339	1,444	1,618	1,763	1,900	2,092	1.56倍
	対前年比伸び率		7.8%	12.0%	9.0%	7.8%	10.1%	
	うち社会保険、社会福祉、介護事業	50	59	72	90	99	114	2.28倍
	対前年比伸び率		18.0%	22.0%	25.0%	10.0%	15.2%	
外国人労働者数	県内全産業	8,166	8,360	9,208	10,433	11,227	12,462	1.53倍
	対前年比伸び率		2.4%	10.1%	13.3%	7.6%	11.0%	
	うち社会保険、社会福祉、介護事業	139	152	255	397	473	598	4.30倍
	対前年比伸び率		9.4%	67.8%	55.7%	19.1%	26.4%	

【資料出所】 山梨労働局『山梨県内の「外国人雇用状況」について（各年10月末現在）』

【労】現在の仕事(職種)を選んだ理由〔複数回答〕

「介護のしごとの魅力」を、いかに伝え、理解してもらえるか・・・選んでもらうため

「働きがい」が感じられる「魅力ある職場づくり」を大切にしたい

「若い人」が選ぶ理由で多いもの

「資格」「技能」・・・キャリア形成を意識する人も

	回答労働者数	★ 働きがいのある仕事だ と思つたから	今後、仕事から 得られる満足度	人や社会の役に立ちたい	生きがい・社会参加のため	お年寄りが好きだから	身近な人の介護の経験	身近に介護関係の仕事をしたい	資格・技能が活かせるから	介護の知識や技能が身につくから	給与等の収入が多いから	自分や家族の都合のよい時間（日）に働けるから	他によい仕事がないため	特に理由はない
山梨県	156	35.9	23.1	24.4	4.5	15.4	15.4	14.7	32.1	16.0	0.6	11.5	7.7	5.1
全国	21,325	39.7	24.9	24.6	9.3	17.2	13.7	12.7	30.7	16.3	4.6	11.7	7.0	4.8
訪問介護員	2,950	36.9	24.2	22.8	9.8	14.7	16.6	16.8	26.2	21.7	3.8	18.8	6.7	4.6
介護職員	8,207	35.5	24.5	22.9	7.2	20.6	15.7	15.2	19.2	19.1	2.2	9.0	9.1	5.5
サービス提供責任者	2,065	38.4	26.9	23.4	8.1	15.1	17.2	17.1	28.1	19.3	3.5	9.9	6.2	5.2
生活相談員	1,276	39.6	26.6	26.0	9.6	21.2	14.2	12.4	28.8	13.9	1.8	6.7	5.3	5.5
看護職員	2,382	54.1	28.3	29.4	13.3	14.9	5.5	5.3	55.1	5.9	17.9	15.4	3.4	2.7
PT・OT・ST等	557	52.2	25.5	32.1	7.2	12.7	4.5	7.2	56.2	5.7	4.8	8.3	3.2	2.5
介護支援専門員	2,727	42.1	23.1	27.0	13.3	13.7	11.9	6.3	48.1	12.2	4.0	12.4	6.6	3.0

【労】現在の仕事に就く前のしごと(直前の仕事)

山梨県では、「介護関係の仕事」からの転職より、

「介護・福祉・医療以外の仕事」からの転職が多い

	(前職が「ある」) 回答労働者数	介護関係の仕事					介護以外の福祉関係の仕事	医療関係の仕事	(人、%) 介護・福祉・医療関係の仕事
		計	訪問系	通所系	施設系	その他			
山梨県	123	30.9	3.3	12.2	13.0	2.4	1.6	8.9	39.8
全国	17,596	37.0	8.0	9.7	15.8	3.5	3.0	11.5	30.7
訪問介護員	2,626	33.9	11.6	7.0	13.7	1.6	3.7	4.7	37.7
介護職員	6,614	35.6	3.7	10.3	19.5	2.1	2.5	4.5	39.6
サービス提供責任者	1,826	39.6	14.7	8.3	15.0	1.6	3.4	4.6	34.9
生活相談員	1,055	43.7	5.6	20.1	15.0	3.0	4.5	5.6	28.8
看護職員	1,654	20.6	5.8	5.7	7.4	1.7	1.6	53.9	6.0
PT・OT・ST等	363	25.0	4.4	11.8	8.0	0.8	1.9	46.3	14.0
介護支援専門員	2,449	54.6	14.4	11.0	16.5	12.7	4.0	11.7	14.4

【参考】他の職種→「介護のしごと」へのキャリアチェンジ

労働局（ハローワーク）職員との、人材確保に向けた 共同研修等 資料 から

「勧め方_ツールのご紹介」

- 1 介護職への転職が多い職種 **ランキング**
- 2 介護のしごとと経験をプラスすることで **更なる強みに**
- 3 パーソナリティ **チェックリスト**
- 4 パーソナリティ **適性診断**

職務のFrom-To分析 リソース発見

出所)「環境変化、職業人生長期化の中でのキャリア再開発援助システムのあり方に関する調査研究報告書
～人材供給システム開発研究～」 平成元年 (財)高齢者雇用開発協会

介護のしごとへの『キャリアチェンジ』提案 「人を相手にする仕事が好きだ」という方へ

【介護職への転職が多い職種ランキング】

- 1位_飲食、販売、サービス、美容師などの接客業
- 2位_オフィスワークなどの事務職
- 3位_営業職
- 4位_製造業や工場など
- 5位_看護職
- 6位_保育士
- 7位_運送、運転、タクシーなど
- 8位_歯科衛生士、歯科助手
- 9位_調理系
- 10位_公務員、自衛隊、

なぜこの職種から介護のしごとに
『キャリアチェンジ』したのか分かりますか？

職務のFrom-To分析 リソース発見

【生活環境・労働条件の類似性】

夜勤を伴う仕事、土日祝日に働く仕事、営業の仕事も強みとしてアピール可能

出所)「環境変化、職業人生長期化の中でのキャリア再開発援助システムのあり方に関する調査研究報告書
～人材供給システム開発研究～」 平成元年 (財)高齢者雇用開発協会

「今まで経験してきた職種」と 「介護職の経験」を組み合わせると **更なる強みに** ②

3. 介護 × 営業・接客

組み合わせ例: 介護職 × 営業職/販売職経験

活かせる職種:

- ・福祉用具専門相談員(営業と相談支援の融合)
- ・介護施設の入居相談員
- ・高齢者向けサービスの営業(保険・住まいなど)

★ 高齢者や家族の心理に寄り添える営業職は信頼されやすく、成績も安定しやすい傾向があります。

4. 介護 × 教育・指導

組み合わせ例: 介護職 × 教員/インストラクター経験

活かせる職種:

- ・介護職員向け研修講師
- ・初任者研修・実務者研修の講師
- ・高校の福祉科支援員

★「教える介護人」**として、今後ニーズが高まる人材です。

【生活環境・労働条件の類似性】

対人慣れしている営業職経験は強み、中途採用者・外国人材への教育・研修ニーズ

介護職パーソナリティ チェックリスト

★「何が当てはまる項目はありますか?」と「適性」項目を尋ねていく

No.	質問項目	(はい)	どちらでもない	いいえ
1	困っている人を見ると、自然に助けたくなる	☐	☐	☐
2	小さな変化や表情から、人の気持ちに気づける	☐	☐	☐
3	人と話すのが好きで、相手の話をよく聴く	☐	☐	☐
4	ていねいで几帳面なほうだ	☐	☐	☐
5	感情を表に出しすぎず、冷静に対処できる	☐	☐	☐
6	体を動かす仕事に抵抗はない	☐	☐	☐
7	チームで協力する仕事にやりがいを感じる	☐	☐	☐
8	誰かに「ありがとう」と言われると嬉しい	☐	☐	☐
9	物事を最後までやり遂げる責任感がある	☐	☐	☐
10	高齢者や子どもなど、弱い立場の人に自然に気を配れる	☐	☐	☐

あくまで「職業相談(自己分析支援)」の参考として

【参考】介護労働講習（実務者研修）の受講者数の推移

危機的

山梨県は、定員が1/3しか充足しない（全国最下位）

各県の定員充足率は80%超え90%なのに

12/36(定員)

①

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
20代	3	1	1	0	0	1	0	0	1	0
30代	4	9	3	2	4	3	1	3	1	1
40代	3	7	9	8	3	8	6	8	6	2
50代	7	5	10	8	8	8	5	5	5	3
60代	5	1	2	3	0	5	0	2	5	6
総数	22	23	25	21	15	25	12	18	18	12

②

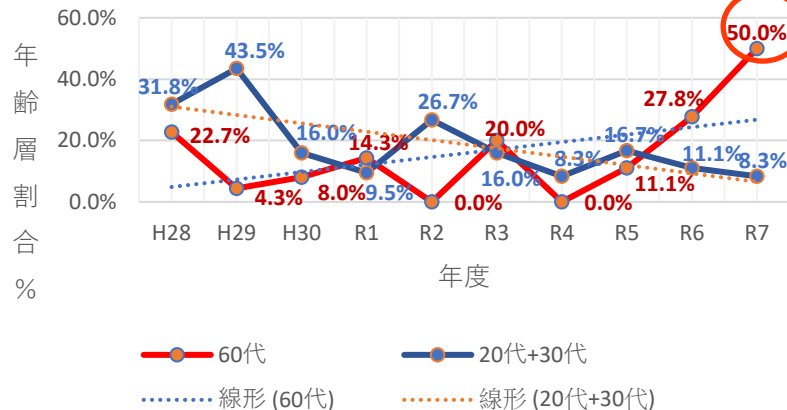
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
平均年齢	46.9	43.3	48.4	49.6	48.3	49.0	47.2	48.1	51.3	55.6

③

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
60代	22.7%	4.3%	8.0%	14.3%	0.0%	20.0%	0.0%	11.1%	27.8%	50.0%
20代+30代	31.8%	43.5%	16.0%	9.5%	26.7%	16.0%	8.3%	16.7%	11.1%	8.3%

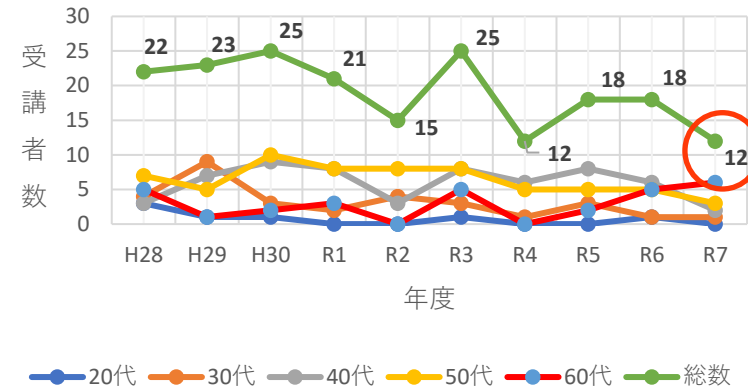
③

介護労働講習 受講者年齢層推移



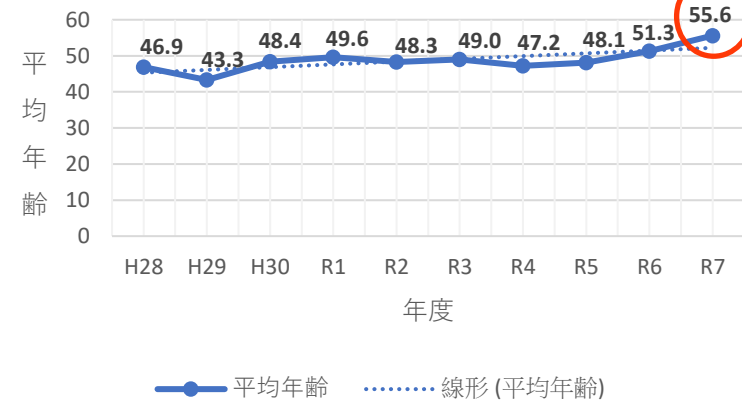
①

介護労働講習 受講者数推移



②

介護労働講習 受講者平均年齢推移



【労】直前の仕事が介護関係の仕事であった介護従事者の 直前の仕事を辞めた理由 [複数回答]

「職場の人間関係に問題があった」が、離職理由 選択肢 1位 ※ 全国と比べ山梨県の率が高いことに注意

「事業理念や運営の在り方に不満」も意外に多く、山梨県では 離職理由 選択肢 2位

	(直前職が介護関係の仕事)	回答労働者数	散・事業不振等のため	人員整理・勧奨退職・法人解散のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係(注1)に問題があったため	カスタマー・ハラスメント(注2)があったため	勤務先に仕事上の悩み事の相談ができなかったため	勤務先の事業理念や運営のあり方に不満があったため	家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・妊娠・出産・育児のため	家族の介護・看護のため
山梨県		*38	*7.9	*13.2	*13.2	*13.2	*15.8	*5.3	*34.2	*2.6	*7.9	*18.4	*0.0	*5.3	*0.0	*13.2	*0.0	
全国		6,508	7.3	18.5	9.4	16.3	14.2	6.3	24.7	3.0	6.7	17.6	3.0	2.7	3.3	12.3	3.7	
訪問介護員		892	7.4	17.0	6.3	16.9	14.0	6.7	24.0	2.7	7.0	15.4	3.3	4.0	3.4	14.2	5.3	
介護職員		2,353	7.3	18.7	4.6	18.8	14.8	7.6	26.6	2.8	7.2	17.5	3.1	2.4	3.6	11.8	3.7	
サービス提供責任者		722	8.0	19.4	6.5	15.4	15.1	5.3	24.1	4.2	6.4	20.1	3.3	1.1	2.8	11.6	3.6	
生活相談員		461	6.7	20.6	5.2	17.4	14.5	5.4	22.8	3.5	6.5	16.9	2.4	1.3	3.5	14.3	1.5	
看護職員		341	5.9	21.7	2.3	14.4	10.3	4.7	25.5	2.6	5.6	18.5	4.1	2.3	2.3	9.7	2.9	
PT・OT・ST等		91	7.7	23.1	5.5	18.7	13.2	4.4	23.1	2.2	5.5	18.7	4.4	3.3	1.1	6.6	1.1	
介護支援専門員		1,339	7.8	16.9	25.3	11.8	13.1	4.9	22.1	2.9	6.0	18.2	2.5	3.2	3.3	13.1	3.7	

(注1)「職場の人間関係」とは、上司、同僚、部下・後輩との人間関係をいう。

(注2)「カスタマー・ハラスメント」は、顧客等(介護の場合利用者や家族)からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為をいう。

【労】 離職理由で「職場の人間関係に問題があった」の具体的内容 [複数回答]

① 山梨県では「仕事の進め方に関する上司や同僚との意思疎通がうまくいかなかった」選択肢 1位
全国では 選択肢 3位

② 全国では「上司や先輩からの指導や言動がきつかったり、パワーハラスメント・・・」選択肢 1位
山梨県では 選択肢 2位

			②					①			(人、%)
		回答労働者数 （人）	上司や先輩からの指導や言動がきつかったり、パワーハラスメントがあった	上司の業務指示が不明確だった	同僚からのきつい言動・悪口・嫌がらせ等があった	職場で仕事のことで、以外の会話がなかった	職場内の仲間はずれや、疎外感・孤独感を感じた	仕事の進め方に疎通がうまくいかなかった	職場の人間からセクハラを受けた	上司・先輩・同僚が気に入らない	部下・後輩に対する指導が難しかった
山梨県		*13	*38.5	*15.4	*7.7	*0.0	*15.4	*53.8	*7.7	*23.1	*0.0
全国		1,606	49.1	36.2	23.9	5.4	16.3	35.5	2.7	24.1	7.3
訪問介護員		214	43.9	42.5	20.6	5.6	15.0	38.3	3.3	28.5	7.9
介護職員		626	44.6	32.7	29.1	4.6	18.2	35.9	3.4	23.5	7.2
サービス提供責任者		174	50.0	46.6	18.4	5.7	10.3	32.8	2.9	24.1	6.3
生活相談員		105	52.4	36.2	20.0	1.9	15.2	25.7	1.0	26.7	5.7
看護職員		87	52.9	31.0	16.1	1.1	12.6	40.2	1.1	31.0	5.7
PT・OT・ST等		*21	*76.2	*52.4	*0.0	*9.5	*19.0	*28.6	*0.0	*28.6	*4.8
介護支援専門員		296	57.1	32.4	24.7	8.1	17.2	37.5	2.4	17.9	9.8

【労】 離職理由で「勤務先の事業理念や運営の在り方に不満があった」の 具体的内容 [複数回答]

山梨県では、以下同じ割合で不満があった

「介護の質の向上をさせる姿勢がなかった」

「介護の質の向上の取り組みに対して職員の体制や処遇が追いつかなかった」

「無駄な業務が多く職員の業務量負担への配慮が弱かった」

「職場の人間関係の改善の取り組みをしてくれなかった」

									(人、%)	
	不満足があつたため」	回答労働者数 （やめた理由が「勤務先の事業理念や運営のあり方」	介護の質の向上をさせる姿勢がなかった	介護の質の向上の手法・方向性が自分の考え方とは異なつていた	介護の質の向上の取り組みに対して職員の体制や処遇が追いつかなかつた	仕事の仕方に関する職員の提案を、管理者が聞いてくれないなかつた	経営の効率性を過度に重視していた	無駄な業務が多く職員の仕事負担への配慮が弱かつた	職場の人間関係の改善の取り組みをしてくれなかつた	利用者や家族からの苦情の取り組みをしてくれなかつた
山梨県	*7	*57.1	*14.3	*57.1	*42.9	*0.0	*57.1	*57.1	*28.6	
全国	1,144	32.8	32.5	35.6	31.6	35.9	33.1	26.4	7.3	
訪問介護員	137	36.5	31.4	42.3	38.0	34.3	40.1	27.7	11.7	
介護職員	412	32.3	32.5	41.3	29.6	28.9	33.0	26.7	6.1	
サービス提供責任者	145	35.2	28.3	30.3	34.5	41.4	29.0	27.6	4.8	
生活相談員	78	38.5	34.6	29.5	28.2	39.7	37.2	23.1	12.8	
看護職員	63	33.3	34.9	31.7	39.7	49.2	33.3	22.2	9.5	
PT・OT・ST等	*17	*29.4	*41.2	*29.4	*41.2	*47.1	*29.4	*23.5	*5.9	
介護支援専門員	244	28.7	34.4	25.8	27.0	38.9	30.3	24.6	7.4	

【労】 現在の法人に就職した主なきっかけ

選択肢 1位は「知人・友人からの紹介」

※ 口コミ が大切

信頼関係づくり

選択肢 2位は「ハローワーク」

			2				1										(人、%)
		回答労働者数	ハローワーク	福祉人材センター	学校・養成施設等での進路指導	民間の職業紹介	友人・知人からの紹介	求人・就職情報誌	折込チラシ、新聞・雑誌の広告	求人情報サイト	法人又は施設・事業所のホームページ	法人又は施設・事業所が発信するSNS	就職セミナー、採用説明会	職場体験、職場実習やボランティア	介護職員の養成のため施設・事業所を知ったため	施設の働きかけ	行政広報誌（市報、区報等）
山梨県		156	21.8	1.9	3.2	1.3	39.7	0.6	5.8	4.5	0.6	0.0	0.6	3.2	0.6	2.6	2.6
全国		21,325	19.3	1.1	3.6	3.4	35.7	3.8	4.4	9.1	2.1	0.1	1.0	1.0	2.0	3.1	0.6
訪問介護員		2,950	16.1	0.5	1.7	2.6	43.6	3.7	3.5	8.1	1.5	0.1	0.9	0.6	4.7	2.9	0.8
介護職員		8,207	23.3	1.5	5.7	3.2	31.1	4.7	5.2	9.0	1.6	0.1	1.4	1.4	1.7	2.7	0.6
サービス提供責任者		2,065	15.7	0.7	2.7	2.2	42.2	3.3	4.6	6.8	1.7	0.0	0.7	0.4	4.5	3.1	0.5
生活相談員		1,276	19.0	1.5	3.2	3.1	33.4	4.9	5.3	9.5	2.9	0.1	1.3	1.7	1.3	4.2	0.5
看護職員		2,382	15.8	1.0	2.0	7.4	36.6	2.6	2.5	13.7	3.6	0.3	0.4	0.3	0.2	2.8	0.3
PT・OT・ST等		557	14.5	0.5	8.1	7.0	30.9	3.6	1.6	19.6	3.6	0.2	0.5	0.9	0.0	2.9	0.0
介護支援専門員		2,727	17.2	1.0	1.3	2.2	37.1	2.1	4.7	5.8	2.3	0.1	0.6	0.9	0.9	4.2	0.9

【労】現在の法人に就職した理由 [複数回答]

山梨県も全国も 選択肢 1位は「通勤が便利だから」 ※ 特に介護職は、近場で探す傾向が強い

選択肢 2位は「職場の人間関係がよさそうだったため」「自分のやりたい介護ができそうだったため」

																			(人、%)	
			回答労働者数	地元での評判が良いため	法人の方針や理念に共感したため	経営が健全で将来的に安定しているため	通勤が便利だから	賃金水準が比較的高いため	時間外労働が少ないため	有給休暇などの各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすいため	質の高い介護を学べそうだったため	自分のやりたい介護ができそうだったため	職場の人間関係がよさそうだったため	事業所・施設の設備・環境が働きやすそうだったため	介護ロボット・ICT機器導入、業務改善等により業務負担の軽減を図っているため	仕事と育児や介護の両立の支援を充実させているため	職場内でのキャリアアップの道筋を明確化しているため	能力や仕事を処遇に反映しているため	事業所内外での研修機会が充実しているため	理由は特にない
山梨県			156	4.5	10.9	16.7	55.1	13.5	17.9	23.1	11.5	29.5	31.4	11.5	1.9	11.5	7.7	11.5	11.5	7.7
全国			21,325	5.6	14.9	12.4	51.9	17.2	18.3	24.4	13.1	33.6	33.6	15.2	1.0	11.9	9.0	14.0	8.1	7.9
訪問介護員		2,950	6.9	13.9	14.4	49.1	18.8	18.3	26.3	16.4	35.6	40.6	15.5	0.9	12.9	10.6	17.5	10.2	7.3	
介護職員		8,207	5.5	12.1	10.3	56.5	14.9	16.9	21.7	12.6	32.4	30.6	14.4	1.0	9.9	8.0	11.7	6.6	8.5	
サービス提供責任者		2,065	4.8	15.8	14.8	47.5	18.9	16.9	23.6	14.1	36.5	35.4	14.4	0.8	12.3	11.6	17.4	9.0	9.0	
生活相談員		1,276	6.7	18.5	10.4	48.3	15.8	17.2	21.9	11.3	39.0	31.8	15.6	0.8	10.7	9.9	17.5	6.7	9.2	
看護職員		2,382	4.7	17.0	12.2	55.0	22.1	25.0	25.5	10.7	32.7	36.6	16.1	1.2	18.0	6.6	13.1	7.7	5.0	
PT・OT・ST等		557	4.5	23.0	14.5	41.7	24.1	26.9	21.7	7.4	32.7	33.4	16.3	1.1	13.1	8.3	17.2	7.5	5.9	
介護支援専門員		2,727	5.9	17.7	14.6	46.8	16.9	16.3	32.7	15.1	31.9	32.9	16.3	1.7	12.1	9.6	12.4	11.4	7.0	

【労】 時間給の単価

山梨県は、時間給単価が全国より低い（次ページ） 逆に、月給者は全国平均より高い

(人、%)																
				回答労働者数	900円未満	950円未満 950円以上	1000円未満 950円以上	1100円未満 1000円以上	1120円未満 1100円以上	1130円未満 1120円以上	1140円未満 1130円以上	1150円未満 1140円以上	1160円未満 1150円以上	1170円未満 1160円以上	平均時間給(円)	
山梨県				*31	*0.0	*6.5	*19.4	*32.3	*12.9	*12.9	*3.2	*0.0	*9.7	*0.0	*0.0	*1,109
全国				4,277	0.4	4.1	6.9	20.0	15.5	15.9	9.0	6.2	15.3	2.3	0.5	1,262
訪問介護員				1,065	0.2	2.1	3.3	14.4	10.9	19.1	13.0	9.3	21.9	1.9	0.0	1,299
介護職員				1,988	0.5	6.7	11.1	28.3	22.1	15.5	6.7	2.9	1.7	0.1	0.3	1,128
サービス提供責任者				131	0.8	3.8	4.6	15.3	12.2	11.5	15.3	9.2	18.3	6.1	0.0	1,313
生活相談員				113	0.0	0.0	6.2	17.7	22.1	23.0	11.5	8.0	7.1	0.0	1.8	1,299
看護職員				552	0.0	0.7	1.4	4.0	2.9	7.6	7.2	9.1	50.7	11.1	1.6	1,608
PT・OT・ST等				*43	*0.0	*0.0	*0.0	*4.7	*2.3	*7.0	*9.3	*11.6	*53.5	*7.0	*2.3	*1,594
介護支援専門員				182	0.0	0.5	0.5	8.8	5.5	25.3	16.5	13.2	24.7	2.2	0.5	1,378

【労】 通常の税込み月収(賃金支払い形態が月給の者)

山梨県の月給者は、全国平均より賃金が高い？

																			(人、%)
			回答労働者数	30千円未満	30千円未満以上	50千円未満	50千円未満以上	80千円未満	80千円未満以上	100千円未満	100千円未満以上	100千円未満以上	100千円未満以上	100千円未満以上	100千円未満以上	100千円未満以上	100千円未満以上	100千円未満以上	平均月収（円）
山梨県			115	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	6.1	8.7	20.9	15.7	13.9	8.7	13.0	4.3	3.5	249,191
全国			15,782	1.1	0.2	0.3	0.3	0.6	0.9	6.3	7.7	19.4	11.4	16.5	7.0	13.8	5.1	3.2	248,884
訪問介護員			1,681	1.7	0.0	0.7	0.6	1.1	1.6	9.5	8.1	22.7	11.7	14.7	5.6	9.8	2.5	1.8	230,258
介護職員			5,695	1.0	0.2	0.1	0.3	0.6	1.3	9.0	10.7	23.7	12.3	15.5	5.9	10.0	3.0	1.2	232,560
サービス提供責任者			1,845	1.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.7	4.8	6.3	17.9	11.7	17.6	7.0	16.4	6.1	3.7	256,744
生活相談員			1,115	0.9	0.3	0.3	0.0	0.4	0.6	5.6	9.3	19.4	12.6	17.6	8.1	13.3	4.1	1.9	245,342
看護職員			1,711	0.7	0.4	0.1	0.1	0.6	0.2	1.3	2.5	10.5	8.1	16.9	7.2	22.7	11.0	9.0	290,093
PT・OT・ST等			493	0.6	0.2	0.0	0.4	0.4	0.0	1.0	3.9	9.9	9.1	20.5	9.9	23.3	10.5	5.9	284,027
介護支援専門員			2,373	0.9	0.2	0.5	0.4	0.4	0.4	3.9	5.1	17.4	12.3	19.2	9.4	14.7	5.7	3.9	257,862

【労】 労働条件・仕事の負担についての悩み、不安、不満等 [複数回答]

選択肢 1位「人手が足りない」、選択肢 2位「仕事内容のわりに賃金が低い」

いずれの回答率も、山梨県は全国より高い

(人、%)																							
				回答労働者数	雇用が不安定である	無期雇用職員になれない	人手が足りない	仕事内容のわりに賃金が低い	労働時間が不規則である	労働時間が長い	不払い残業がある・多い	休憩が取りにくい	有給休暇が取りにくい	精神的にきつい	業務に対する社会的評価が低い	キャリアアップの機会がない	夜間や深夜時間帯に何か起きるのではな いかと不安がある	介護業務と医療行為の境目が分かりにく いため不安がある	身体的負担が大きい	健康面（新型コロナウイルス等の感染 症、怪我）の不安がある	福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施 設の構造に不安がある	仕事上の怪我などへの補償がない	労働条件・仕事の負担について特に悩 み、不安、不満等は感じていない
山梨県		156	1.3	0.0	54.5	46.8	8.3	8.3	3.8	17.3	25.6	24.4	23.1	6.4	14.7	8.3	26.3	22.4	9.0	2.6	9.6		
全国		21,325	3.2	0.6	49.1	35.3	8.1	6.7	3.1	17.3	19.4	22.5	20.2	5.9	12.9	7.1	24.6	19.4	6.1	2.8	14.1		
訪問介護員		2,950	3.6	0.9	43.2	29.2	10.5	5.0	1.7	13.6	17.2	16.0	20.5	4.5	5.4	7.6	22.4	21.5	2.4	2.6	19.2		
介護職員		8,207	3.3	0.7	59.4	42.0	10.5	6.9	3.3	18.5	22.2	23.8	21.4	6.7	20.3	9.4	34.3	22.8	10.2	3.9	10.5		
サービス提供責任者		2,065	2.6	0.5	61.8	32.6	9.9	9.0	3.1	20.6	25.2	20.6	25.2	5.2	5.5	6.3	22.1	19.7	2.5	1.7	11.6		
生活相談員		1,276	3.8	0.4	53.4	36.7	3.6	9.6	4.2	22.0	22.3	21.7	19.7	7.9	5.0	4.8	20.5	14.7	5.1	2.0	12.9		
看護職員		2,382	3.1	0.5	43.3	24.4	6.1	5.9	3.6	16.9	16.8	20.1	9.7	5.9	18.5	6.7	22.5	17.9	5.4	2.4	14.7		
PT・OT・ST等		557	2.7	0.0	42.5	26.2	1.6	5.9	3.1	16.5	20.1	13.5	13.6	10.2	0.5	4.7	20.5	11.5	4.3	2.5	16.7		
介護支援専門員		2,727	2.6	0.7	21.8	36.5	3.0	5.2	3.1	13.2	10.6	31.5	24.6	3.5	7.9	3.0	7.7	13.1	2.8	1.1	18.8		

【労】 職場でのハラスメント [複数回答]

①「過去1年間で仕事中に職場内で左記のようなハラスメントを受けたことがない」

山梨県 71.2%、全国 75.8%

②「仕事中に利用者やその家族から先のような経験をしたことはない」

山梨県 61.5%、全国 56.6% 被害を受けた割合が少ない

職場でのハラスメント [複数回答]

									(人 %)
		回答労働者数	暴行・傷害（身体的な攻撃）	脅迫・名誉毀損・精神的な攻撃	隔離・仲間外し・無視（人間関係からの切り離し）	業務上明らかに必要のないこと、遂行不能なことの強制、仕事の妨害（過大な要求）	業務上の合理性なく、能力や経験の高低にかかわらず命を脅かすこと（過少な要求）	私的なこと（過度に私利私欲による）	過去1年間で左記の事を受けたことはない
山梨県		156	0.0	7.7	5.8	1.9	0.6	6.4	71.2
全国		21,325	0.2	7.2	3.5	3.5	1.1	3.1	75.8
訪問介護員		2,950	0.3	5.6	2.7	2.9	1.2	2.8	78.5
介護職員		8,207	0.2	8.0	3.9	3.3	1.1	3.6	75.8
サービス提供責任者		2,065	0.0	7.2	2.9	3.8	1.2	3.0	76.5
生活相談員		1,276	0.2	7.2	4.2	4.2	1.6	3.5	75.4
看護職員		2,382	0.1	6.6	3.2	3.1	1.4	2.7	74.2
PT・OT・ST等		557	0.0	5.6	3.4	3.8	1.3	2.2	81.5
介護支援専門員		2,727	0.0	6.6	3.6	3.6	0.8	2.7	75.7

利用者やその家族からのセクハラ、暴力等 [複数回答]

	回答労働者数	セセ クハ ラ ～	暴 力 ～	暴暴 言言 ～ ～	介介 護護 保保 険険 ～ ～	② た左 記の よう な 経 験 を し
山梨県	156	7.7	10.3	23.1	10.9	61.5
全国	21,325	8.3	9.6	22.3	14.7	56.6
訪問介護員	2,950	8.6	5.2	20.5	22.8	54.2
介護職員	8,207	9.2	16.7	23.9	5.4	59.8
サービス提供責任者	2,065	9.3	5.5	25.4	30.3	47.1
生活相談員	1,276	7.9	6.7	18.2	11.7	64.5
看護職員	2,382	11.2	7.5	22.0	9.3	57.9
PT・OT・ST等	557	7.4	5.2	15.8	11.0	66.2
介護支援専門員	2,727	3.7	2.2	22.7	30.8	47.9

★ ハラスメント被害を受けた人の割合が少ないから、良かったというものではない

【労】 職場を辞めずに働き続けることに役立っているもの [複数回答]

①山梨県では「有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり」 選択肢 1位
全国では 選択肢 2位

②全国では「人間関係が良好な職場づくり」 選択肢 1位 ★ 賃金水準の向上は 山梨県は 7位
山梨県では 選択肢2位 全国では 4位

																					(人、%)	
		回答労働者数	賃金水準の向上	時間外労働の削減	① 有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり	自分の希望や人間関係などに配慮した配置・異動	介護の質の向上を図るための価値観や行動基準の共有	現場の裁量による創意工夫を尊重するマネジメント	② 人間関係が良好な職場づくり	職場内での仕事上のコミュニケーションの円滑化（面談、ミーティング、意見交換会など）	仕事外での職員間の交流の機会の設定	悩み、不満、不安などを上司以外に相談できる担当者・相談窓口の設置	事業所の設備・環境を働きやすいものに改善	介護ロボット・ICT機器等の導入、業務改善等により業務負担の軽減	健康対策や健康管理の充実	仕事と育児や介護の両立支援	託児所設置や保育費用支援等	事業所内でのキャリアアップの道筋の明確化	能力や仕事を処遇に反映	事業所内外での研修機会の充実	地域活動への事業所としての参加	役立っているものはない
	山梨県	156	★ 19.2	18.6	49.4	20.5	23.7	17.9	42.3	27.6	13.5	16.0	17.3	5.8	14.7	22.4	1.9	9.0	19.9	15.4	7.1	13.5
	全国	21,325	23.1	17.6	43.2	20.8	22.3	14.7	47.2	30.9	11.1	15.0	16.0	5.3	10.8	17.7	1.3	9.7	18.9	13.7	5.4	11.2
	訪問介護員	2,950	26.1	15.5	41.6	25.8	28.2	14.1	51.7	34.9	13.2	18.5	16.9	3.1	14.3	18.7	1.1	10.4	22.1	16.1	4.0	9.0
	介護職員	8,207	20.7	16.6	40.2	19.8	21.3	12.7	44.3	27.0	9.7	13.1	13.9	5.8	8.8	15.7	1.3	8.8	17.1	11.5	5.1	13.2
	サービス提供責任者	2,065	27.2	17.9	43.4	21.9	25.8	16.1	52.5	35.0	13.2	17.2	17.4	4.8	12.8	18.0	0.6	11.6	23.4	15.5	4.9	9.4
	生活相談員	1,276	27.4	18.4	40.6	21.4	20.6	16.0	47.8	30.3	12.2	14.8	16.5	4.6	10.1	19.4	1.2	11.7	21.3	10.9	6.8	12.9
	看護職員	2,382	20.7	22.7	47.0	20.9	19.9	15.0	50.2	37.7	11.3	16.7	16.1	5.6	10.7	23.0	2.1	8.0	16.5	13.3	4.7	9.5
	PT・OT・ST等	557	25.3	27.6	44.9	19.6	18.9	17.8	49.6	30.2	9.7	13.6	16.3	5.2	6.8	21.2	2.9	10.4	19.2	8.8	4.3	9.0
	介護支援専門員	2,727	22.4	16.6	51.6	16.6	20.6	18.3	44.5	31.1	11.4	14.4	18.2	6.4	12.5	17.5	0.7	10.1	16.9	19.5	8.2	10.1

【労】 現在の仕事の満足度(満足＋やや満足)

①「職場の人間関係」が、山梨県でも、全国でも 選択肢 1位

②「仕事関係の情報の共有」「仕事の内容」「仕事上の相談の環境」も高いことに注目

										①		②					(人、%)
		回答労働者数	仕事の内容	キャリアアップの機会	賃金水準	労働時間・休日等の労働条件	人員配置体制	立仕事と育児や介護の両	人事評価のあり方	職場の人間関係	仕事上の相談の環境	仕事関係の情報の共有	雇用の安定性	仕事のための設備・機器・用具類	休憩室などの付帯設備	機会教育訓練・能力開発の	職業生活全体
山梨県		156	34.6	18.6	12.1	33.3	10.9	19.9	14.8	42.9	34.0	35.2	30.8	19.2	14.1	16.0	17.3
全国		21,325	39.4	21.8	22.8	34.7	18.3	22.5	19.3	45.5	39.1	38.6	34.3	21.7	18.5	17.2	24.0
訪問介護員		2,950	43.7	21.9	27.5	37.0	21.2	24.0	24.3	51.4	46.8	46.0	36.9	26.6	21.9	20.5	28.0
介護職員		8,207	32.0	18.9	17.6	30.8	13.7	18.9	15.6	41.4	34.2	32.0	30.4	15.7	15.0	13.7	19.1
サービス提供責任者		2,065	43.9	28.3	27.6	33.8	17.2	20.8	22.3	49.8	42.8	44.8	36.8	25.2	21.7	18.6	26.7
生活相談員		1,276	42.0	21.9	21.9	32.5	16.5	21.3	19.3	43.9	37.5	37.2	32.6	17.1	17.2	14.5	23.1
看護職員		2,382	44.6	19.3	27.0	33.9	19.5	27.8	20.5	48.8	42.9	42.9	37.0	25.2	21.1	19.1	26.9
PT・OT・ST等		557	51.0	24.1	27.9	46.5	23.3	30.0	23.0	52.1	42.9	43.1	39.1	26.6	22.1	17.4	31.4
介護支援専門員		2,727	44.5	26.5	25.0	43.8	27.6	27.7	20.8	45.8	41.6	43.1	39.1	29.0	19.8	22.5	28.7

【労】 仕事(職種)の今後の希望、今の事業所での就労継続希望

①「今の仕事(職種)を続けたい」が、山梨県 61.5%で、全国 58.3% より高いが・・・
約2割の介護労働者は迷っている。

②「今の事業所で働き続けたい」が、山梨県 56.7%で、全国 53.0% より高いが・・・
約1割の介護従事者は、別の施設への転職希望ありで、迷っている者も2～3割。

①								②						
(人、%)								(人、%)						
	回答労働者数	今の仕事（職種）を続けたい	今の仕事（職種）ではない、介護関係の仕事（職種）に就きたい	今の仕事（職種）ではない、福祉・医療関係の仕事（職種）に就きたい	介護・福祉・医療関係以外の仕事（職種）に就きたい	わからない	働きたくない			回答労働者数	今の事業所で働き続けたい	今の法人内の別の事業所に転職したい	別の法人や企業などに転職したい	わからない
山梨県	156	61.5	5.1	4.5	1.3	18.6	3.8		山梨県	150	56.7	1.3	11.3	23.3
全国	21,325	58.3	4.2	3.0	5.5	20.6	3.2		全国	20,649	53.0	2.0	9.9	27.7

【能力開発・組織開発支援_講習・研修】

介護事業者に対し可能な支援（介護労働安定センター山梨支部 事業_一例の案内）

リーダー向け
マネジメント研修

「管理職のしごと」を考える

大切なこと・面白さ・喜びとは

Challenge
令和7年7月1日

公益財団法人介護労働安定センター
山梨支部

サンプル
基本バージョン

マネジメント研修

目的と流れ

- はじめに
いつからリーダー
リーダーとしての「姿勢」
- リーダーとしてやるべきこと
「現状把握」と「目標設定(戦略策定)」
- リーダーとして必要な考え方
部下との「接し方」
「やりがい」や「モチベーション」を感じてもらうには
「進捗管理」の際の留意点
- リーダーとして気をつけること
様々な視点を持つ
攻守のバランス
- リーダーとしての面白さ・喜び
チームとして機能する喜び
工夫・達成の喜び
- リーダー的役割が付加された「マイ・キャリア」
- おわりに
人間が相手 理論知 ⇒ 実践知 暗黙知
（論理的正しさよりも
個別具体的に働きかけの有用性が問われる）

やりがい

条件を整えるのは「マネジメント」の責任

どれだけ発揮できるか
「継続力」「観察力」「洞察」
「承認力」
①結果承認 ②プロセス承認
③行動承認 ④意識承認
⑤存在承認

仕事そのものが人を動機づける 程度

(技能多様性×タスク完結性×タスク重要性) ÷ 3 × 自律性 × フィードバック

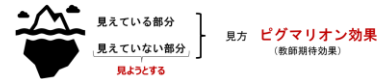
【達成動機】

- 自己効力感 「やったらできた」の成功体験（小目標）
- 自己有能感 それなりにできたら「褒めて」
- できたこと 《変化したこと》の「可視化（見える化）」
- 原因帰属理論 「成功は（あなたの）努力によるもの」と知らせる（原因の所在、安定性、統制可能性）
- 自己決定 指し手（やらされていない、やっている）の感覚づけ

目録
戦略策定 持つべき 大切な 視点

「弱み」でなく「強み（できていること）＝ リソース」把握

- 個人
強み は何か
- 組織
報連相 + 助け合い が できているか
ステークホルダー との 関係構築



人の「良いところ」を見出す意味・理由について

配下職員をよく見る・知る ⇒ 人・自らの組織がどのように動いているか的確に把握する
コミュニケーションの促進を図る 「部下を知らないことには指示も出せない」

【先ずは、自らの先入観を一切排除し、良い点から見ていく姿勢を持つことがとても大切】

人が「成果」を出すのは
「強み」によってのみ
組織の目的は、人の強みを
生かすこと、弱みをなく
すること、ドラッカー

ビグマリオン(教師期待)
効果
人は期待し続けることで
良い結果になる、期待す
ることで相手が成長する
「ローゼンタール」

ポジティブ・メンタルヘ
ルス
強みの適切なフィード
バック(承認)は、ポジ
ティブ感情(モチベー
ション)を高める

介護労働安定センターの専門家による支援
「研修計画作成の手引き」の活用事例

- 課題の発見「チェックリスト」とは
- ①研修企画段階の工夫は ②研修に送り出す段階の工夫は ③フィードバックの工夫は

【感じたこと、考えたこと】

＜私たちは、何を課題と感じ、どのように取り組んでいくのか＞

介護労働力は、**各地域の力による創出・確保が必要**

【保険者である**市町村**エリア、もしくは一定の労働市場が形成される
ハローワーク管轄単位での取り組みも重要だと感じます】